

学位被授与者氏名	津村 江美 (つむら えみ)
論文題目	日本語ボランティアにみられる外国人住民への共生意識と地域の課題
論文審査結果の要旨	<p>本論文は、福岡県内の日本語学習支援ボランティアの「共生」への意識を分析考察し、地域や行政の課題を探ることを目的とする。外国人集住地域における研究は、日本語教育学や異文化間教育学、外国人児童生徒の教育・保育の個別事例や施策等、様々な対象やアプローチによる蓄積がみられるが、非集住地域ないし分散地域における研究は十分な蓄積があるとは言い難い。その点で、学習支援活動を行うボランティアの意識調査を通して、外国人分散地域での日本語教室の現状と「共生」を実現する市民への変容可能性または困難性を明らかにしようとした本研究は当該分野の研究に一つの成果を積み重ねる研究として位置づけられる。</p> <p>「教える者の優位性」の維持が外国人との「対等な関係」の構築を困難にするとの仮説検証に当たっては、補足的に定性調査の研究方法を用いることでより詳細な検討が可能となったであろう点は惜しまれるが、学習支援ボランティアの特徴及び外国人分散地域の外国人住民に対する行政サービスの改善課題が明らかにされており、修士論文として評価する。今後の研究の展開のみならず、日本語教室の取り組みの充実及び行政サービス向上につながる成果も期待される。</p> <p>平成 28 年 2 月 22 日に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>